

# 東区故事



## てんりゅうがわ 天龍川町

天龍川町は、浜松市に合併するまで、和田村橋羽でした。

橋羽の由来は、かつてこの辺りに天龍川の分流があり、旅人の往来も多かったため、分流に橋が架けられ「橋場」と言われていたことに由来します。「橋場」が訛って「橋羽」になったと言われています。

また、天龍川町の町名は、町内に東海道線天龍川駅があり、町の位置を示すことができる町名ということから付けられました。

天龍川駅から250mほど北側には、県の天然記念物にも指定されている「法橋の松」があります。

## とよにし 豊西町

豊西町の前身である豊西村は、豊田郡に属していた中善地、羽鳥、倉中瀬、末島、中瀬、常光、恒武、貴平、石原の9つの村と善地村の一部が合併した村でした。この合併した村が、豊田郡の西側に位置することから豊西村と命名されました。他にも、同地内を流れていた豊田川（天龍川の支流）の西側にあったため、豊西村としたという説もあります。

豊西村は昭和26年に笠井町に合併し、浜松市に合併後も市の大字となりましたが、昭和30年に末島の全域、中善地・羽鳥・倉中瀬・石原・恒武・笠井新田の一部をもって豊西町となりました。

### 参考文献

- ・はままつ町名の由来（静岡出版社）
- ・あの町この町 遠州地名町名物語・浜松・浜北篇（ひくまの出版）
- ※ 紹介している由来は一例で、この他の説もあります。

# 東区協議会だより

Vol. 61

5月25日(金)、第2回東区協議会が出席委員18人で開催されました。

## 協議事項について 地域力向上事業について

東区区振興課から、平成23年度に実施した地域力向上事業20件の2次評価（助成事業5件、区企画事業15件）と、平成24年度に実施予定の助成事業1件と区企画事業1件について説明がありました。

### 助成事業

○姫街道検定と姫街道フォーラムin市野宿  
○技術の継承「バイクに見るものづくりのまち浜松」

### 〈委員からの質問〉

Q 明善を学ぶ市民演劇体験の3月の公演の様子はどうか。

A 200人近くの観劇があった。そのときの写真を明善生家に展示してある。

Q 姫街道検定について教えてほしい。

A 検定は平成21年から実施している。問題は100問で、そのうち東区に関わる問題がおよそ10問の予定である。

Q 東区の独自性はあるのか。姫街道ウォークには講師がつくのか。

A 検定は姫街道全域が対象であるが、姫街道ウォーク、ウォーク、展示は東区で実施する。講師は浜松市文化財課の職員が務める。

## 報告事項について

### 東区避難行動計画の策定について

東区区振興課から、10月完成予定の東区避難行動計画について説明がありました。区ごとに市民委員などで構成する策定会議を開催し、区民にとって身近な計画の策定を目指しています。

### 〈委員からの質問〉

Q 各自治会や個人が、これをガイドラインとして避難できるように策定してほしい。西区や中区は学校などに海抜表示が設置されているが、東区には設置しないのか。

A 併せて検討したい。現在、東区は津波想定地域ではない。前年度作成のマップに学校などの公共施設の海抜を表示しているのを参考にしてほしい。

Q 海岸から1km内陸に入れば、海抜が1m上がるという認識によると、東区は海岸からは8kmくらいあるので大丈夫という計算になるのか。

A さらに、津波は1km進むごとに1m低くなると考えられているので、大丈夫だと考えられる。

Q 和田地区では自分たちでゴミ集積場に海抜表示を設置しようとしている。液状化についても教えてほしい。

A 市のホームページに地盤の情報が載っているのを参考にしてほしい。